

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 26

請求番号	P00814	文書番号	276	年代	明治14年(1881)
史料名	自由党盟約				
形態	冊	複製	あり・なし (デジタル画像)		
備考	寄贈の古文書(三俣経久家文書) 令和2年度 インターネット展示「新規公開文書展2020」で使用(HPで公開)				
史料概要	<p>自由党は、明治時代前期に自由民権運動の高まりの中で結成された日本史上最初の全国政党である。同年10月29日、総理板垣退助、副総理中島信行以下の本部役員を選出し、盟約3章と規則15章を決定して正式に発足した。この「自由党盟約」には、自由の拡充、権利の確保、幸福の増進、社会の改良を目的に掲げていることがわかる。これは、翌年4月大隈重信中心に結成された立憲改進黨に比べ、急進的な主張であった。</p> <p>この史料を所持した三俣素平氏は、明治14年末に緑埜郡中島村(現藤岡市)出身の高津仲次郎らと「明己会」という政治団体を結成し、演説会を開催するなど民権思想の普及に努めていた。</p>				
指導要領(内容)との関連	<p><小6> (2) -ア-(コ) 自由民権運動と大日本帝国憲法の発布</p> <p><中歴> C-(1) -ア-(ウ) 議会政治の関わりと国際社会との関わり</p> <p><高歴総> B-(3) -ア-(ア) 国民国家と明治維新</p>				
活 用 例					
活用単元	立憲体制と国民国家の形成				
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動の学習時の導入場面や、当時の運動の高まりなどを追究する場面で活用。授業の導入で生徒に読ませる。 				
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> 人権に関わる箇所を読んだり、書き出したりした後、現代にも通じる内容についてグループ(あるいはペア)で考察し、当時の人権意識や運動の高まりについての意見をまとめ、発表へとつなげる。 				
予想される生徒児童の反応など	<ul style="list-style-type: none"> 現代に通じる内容に着目することで、明治維新よりわずか10年ほどでヨーロッパの人権思想が流入し、政党の規約にまで盛り込まれていたことに気づくことができる。また、自由民権運動の展開で、群馬県など地方にもヨーロッパの人権思想が広がっていたことにも気づくことができる。 				

自由党盟約 (P00814 276) 明治 14 年

